

奥津彦重 あつひこ ドイツ文學者、文學博士。明治二十八年四月二十八年  
 的遊賀縣生れ、昭和六年二月歿（八五—一九八七）。號愛宕北山。大  
 正九年東京帝國大學文藝部獨文科卒。東北帝大法文藝部助教授を経て、  
 戦後東北大學教授。

譯書に、ヤウグスト・メツセル著『シンプンダレルの哲學』、『西洋の没  
 落』の紹介並びに批判』（譯編、大正十五年十月十日共立社）、『シ  
 ルレル小説集』（昭和二年十一月五日岩波書店「獨逸文學叢書」）、  
 ハウプトマン作『ソアーナの異教徒—附線路番テール』（昭和二年七  
 月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、ゲーテ作『ヘルマンとドロテー  
 ア』（昭和二十四年六月二十日日本教文社「世界文庫」）『岩波獨逸  
 辭典』（小牧健夫・佐藤通次共著、昭和二十八年四月二十日岩波書  
 店）等。遺稿『次元律』（平成二年十一月二十五日奥津松枝刊）。

